



評価関連用語集

ここに掲載した評価関連用語は経済協力開発機構（OECD）発行の「評価と援助の有効性 評価および結果重視マネジメントにおける基本用語集」に記載されているものである。

原本：経済協力開発機構（OECD）発行 Evaluation and Aid Effectiveness No.6 - Glossary of Key Terms in Evaluation and Results Based Management/L'évaluation et l'efficacité de l'aide n°6 - Glossaire des principaux termes à l'évaluation et la gestion axée sur les résultats

著作権 © 2002 OECD

日本語版 © 2003 OECDの許諾により外務省

アウトカム（成果）

インターベンションのアウトプット（産出物）によって達成されると見込まれる、または達成された短期的及び中期的な効果。

関連用語：結果、アウトプット（産出物）、インパクト、効果

アウトプット（産出物）

インターベンションの結果として生み出される産出物、資本財及びサービス。インターベンションから生じた変化であって、アウトカム（成果）達成に関連する変化を含むこともある。

アカウンタビリティ（説明責任）

事前に合意した規定と基準に従って業務を遂行したことを明示する義務。または、与えられた権限に基づく役割及び（又は）計画に照らして、実績（パフォーマンス）を公正かつ正確に報告する義務。場合によっては、業務が契約条件に一致していることを慎重に、ときには法的に説明できるような形で示すことが求められる。

注：開発の分野におけるアカウンタビリティ（説明責任）とは、定められた責任、役割、期待される実績（パフォーマンス）に従ってパートナーが行動する義務、また、資源の適切な使用という観点からの義務を指す場合がある。評価者にとっては、正確、公正でかつ信頼できるモニタリングの報告と実績測定結果を提供する責任をも意味する。また、公共セクターの責任者及び政策立案者にとってアカウンタビリティ（説明責任）とは、納税者及び（又は）市民に対するものである。

委託事項

評価の目的及び範囲、用いられる手法、実績（パフォーマンス）の査定や分析の実施を行うための標準、配分される資源及び時間、さらに報告義務を明示した文書。「仕事の範囲」「評価委託」というふたつの表現も同じ意味で用いられることがある。

インパクト

開発インターベンションによって直接または間接に、意図的にまたは意図せずに引き起こされる、肯定的、否定的及び一次的、二次的な長期的効果。

Outcome

The likely or achieved short-term and medium-term effects of an intervention's outputs.

Related term: result, outputs, impacts, effect.

Outputs

The products, capital goods and services which result from a development intervention; may also include changes resulting from the intervention which are relevant to the achievement of outcomes.

Accountability

Obligation to demonstrate that work has been conducted in compliance with agreed rules and standards or to report fairly and accurately on performance results vis a vis mandated roles and/or plans. This may require a careful, even legally defensible, demonstration that the work is consistent with the contract terms.

Note: Accountability in development may refer to the obligations of partners to act according to clearly defined responsibilities, roles and performance expectations, often with respect to the prudent use of resources. For evaluators, it connotes the responsibility to provide accurate, fair and credible monitoring reports and performance assessments. For public sector managers and policy-makers, accountability is to taxpayers/citizens.

Terms of reference

Written document presenting the purposes and scope of the evaluation, the methods to be used, the standard against which performance is to be assessed or analyses are to be conducted, the resources and time allocated, and reporting requirements. Two other expressions sometimes used with the same meaning are “scope of work” and “evaluation mandate”.

Impacts

Positive and negative, primary and secondary long-term effects produced by a development intervention, directly or indirectly, intended or

インプット（投入）

開発インターベンションに使用される財政的、人的及び物質的資源。

開発インターベンション¹

開発を促進するためにパートナー（ドナー及び非ドナー）が支援を行うための手段。

注：例として、政策提言、プロジェクト、プログラムなど。

開発目標

意図されたインパクトのことであり、一つまたはそれ以上の開発インターベンションを通じて、ある社会、コミュニティ、グループの物理的、財政的、制度的、社会的、環境的その他様々な便益に貢献するもの。

外部評価

ドナーや援助実施に関わる組織以外の組織及び（又は）個人によって行われる開発インターベンションの評価。

活動

行動や業務のことであり、これを通じて特定のアウトプット（産出物）を生み出すためにインプット（投入）（資金、技術支援、その他の種類の資源）がなされる。

関連項目：開発インターベンション

仮定

開発インターベンションの進捗や成功に影響を及ぼす可能性のある要因またはリスクに関する仮説。

注：仮定は、評価自体の妥当性に影響する仮定的な条件と捉えることもできる（例：サーベイのためのサンプリング手順を計画する際の母集団の特性などに関する前提）。予期した結果の連鎖を系統立てて追跡する評価方法である「セオリー評価（Theory based evaluations）」では、仮定が明示される。

unintended.

Inputs

The financial, human, and material resources used for the development intervention.

Development Intervention

An instrument for partner (donor and non-donor) support aimed to promote development.

Note: Examples are policy advice, projects, programs.

Development objective

Intended impact contributing to physical, financial, institutional, social, environmental, or other benefits to a society, community, or group of people via one or more development interventions.

External evaluation

The evaluation of a development intervention conducted by entities and/or individuals outside the donor and implementing organizations.

Activity

Actions taken or work performed through which inputs, such as funds, technical assistance and other types of resources are mobilized to produce specific outputs.

Related term: development intervention.

Assumptions

Hypotheses about factors or risks which could affect the progress or success of a development intervention.

Note: Assumptions can also be understood as hypothesized conditions that bear on the validity of the evaluation itself, e.g., about the characteristics of the population when designing a sampling procedure for a survey. Assumptions are made explicit in theory based evaluations where evaluation tracks systematically the anticipated results chain.

¹ 開発援助以外の分野では、「介入」と訳される場合がある。

監査

組織の業務の価値を高めたり改善することを目的として計画された、独立しかつ客観的な確認活動。厳密なリスク管理、統制、組織運営プロセスの効果を査定、改善するための系統的、規律あるアプローチを用いて、組織が目標を達成できるよう支援する。

注：通常の監査（財務監査）と実績監査は異なるものであり、前者が法令や規則と合致しているかという点（合規性）に着目するのに対し、後者は妥当性、経済性及び効果に着目する。外部監査が独立した組織によって実施されるのに対し、内部監査は内部管理について査定するものであり、経営部門への報告を担当する部門によって実施される。

帰属

認識された変化と特定の支援とをある因果関係に帰すること。

注：帰属とは、以下の点が信用できるものかどうかにも関係する。すなわち、認められた開発効果は、他のインターベンション、区別困難な要因、あるいは外的影響を考慮に入れた上で、ある特定のパートナーまたは複数のパートナーによる特定のインターベンションや実績（パフォーマンス）に帰することができるのかという点である。

教訓

プロジェクト、プログラム、政策における評価経験に基づく帰納的結果であり、特定の状況から抽出され、より幅広い場面に適用される。「教訓」は、準備、計画、実施というそれぞれの段階において、実績（パフォーマンス）、アウトカム（成果）及びインパクトに影響を与える長所や短所をしばしば明確にするものである。

国別プログラム評価／国別援助評価²

あるパートナー国における、単独あるいは複数のドナーの開発インターベンションのポートフォリオ及びその開発支援の背景にある援助戦略の評価。

Audit

An independent, objective assurance activity designed to add value and improve an organization's operations. It helps an organization accomplish its objectives by bringing a systematic, disciplined approach to assess and improve the effectiveness of risk management, control and governance processes.

Note: a distinction is made between regularity (financial) auditing, which focuses on compliance with applicable statutes and regulations; and performance auditing, which is concerned with relevance, economy, efficiency and effectiveness. Internal auditing provides an assessment of internal controls undertaken by a unit reporting to management while external auditing is conducted by an independent organization.

Attribution

The ascription of a casual link between observed (or expected to be observed) changes and a specific intervention.

Note: Attribution refers to that which is to be credited for the observed changes or results achieved. It represents the extent to which observed development effects can be attributed to a specific intervention or to the performance of one or more partner taking account of other interventions, (anticipated or unanticipated) confounding factors, or external shocks.

Lessons learned

Generalizations based on evaluation experiences with projects, programs, or policies that abstract from the specific circumstances to broader situations. Frequently, lessons highlight strengths or weaknesses in preparation, design, and implementation that affect performance, outcome, and impact.

Country Program Evaluation/Country Assistance Evaluation

Evaluation of one or more donor's or agency's portfolio of development interventions, and the

² 外務省では「国別評価」と呼称している。

クラスター評価

関連する活動、プロジェクト及び（又は）プログラムをひとまとめのものとして評価すること。

経済性

アウトプット（産出物）に無駄がないこと。

注：使用された少ない資源のコストが、計画された目標を達成するための必要最小限に近似しているとき、その活動は経済的であるといえる。

形成評価

実績（パフォーマンス）の改善を意図して行われる評価であり、そのほとんどはプロジェクトやプログラムの実施段階で行われる。

注：形成評価は、その他の理由によって行われることもある。すなわち、法律上の要請から、あるいはより大きな評価作業の一部として行われることもある。

関連用語：プロセス評価

結果

開発インターベンションのアウトプット（産出物）アウトカム（成果）あるいはインパクト（意図的なもの、意図でないもの、肯定的なもの、及び（又は）否定的なものを含む）。

関連用語：アウトカム（成果）、効果、インパクト

結果重視マネジメント

実績（パフォーマンス）及びアウトプット（産出物）アウトカム（成果）、インパクトの達成に焦点を置いたマネジメント戦略。

関連用語：ロジカル・フレームワーク

結果のフレームワーク

開発目標はどのように達成されるべきかを説明するプログラムの論理であり、因果関係やその背景にある仮定も含むものである。

関連用語：結果の連鎖、ロジカル・フレームワーク

結果の連鎖

開発インターベンションにおける因果関係の連鎖のことであり、期待される目標を達成するために必要な一連の流れ、すなわち、インプット（投入）に始まり、

assistance strategy behind them, in a partner country.

Cluster evaluation

An evaluation of a set of related activities, projects and/or programs.

Economy

Absence of waste for a given output.

Note: An activity is economical when the costs of the scarce resources used approximate the minimum needed to achieve planned objectives.

Formative evaluation

Evaluation intended to improve performance, most often conducted during the implementation phase of projects or programs.

Note: Formative evaluations may also be conducted for other reasons such as compliance, legal requirements or as part of a larger evaluation initiative.

Related term: process evaluation.

Results

The output, outcome or impact (intended or unintended, positive and/or negative) of a development intervention.

Related terms: outcome, effect, impacts.

Results-Based Management (RBM)

A management strategy focusing on performance and achievement of outputs, outcomes and impacts.

Related term: logical framework.

Results framework

The program logic that explains how the development objective is to be achieved, including causal relationships and underlying assumptions.

Related terms: results chain, logical framework.

Results Chain

The causal sequence for a development intervention that stipulates the necessary sequence to achieve desired objectives-beginning

活動及びアウトプット（産出物）に移行し、アウトカム（成果）、インパクト、フィードバックに至るまでの連鎖を規定するものである。機関によっては、対象範囲（影響範囲）もこの結果の連鎖の一部に含まれる。
関連用語：仮定、結果のフレームワーク

結論

結論とは、評価対象となるインターベンションの成功要因と失敗要因を指摘するものであり、特にその結果やインパクトが意図されていたか、または意図されていなかったか、さらにより一般的にその他の長所と短所にも注意を払う。結論はデータ収集及び分析をもとに、明解な議論の積み重ねを通して導き出される。

効果

インターベンションによって直接あるいは間接的に引き起こされる、意図された変化または意図されていなかった変化。
関連用語：結果、アウトカム（成果）

合同評価

異なる複数の援助機関及び（又は）パートナーが参加して行う評価。
注：個々のパートナーがどれくらい評価プロセスに協力し、評価のための資源を持ち寄り、個々の評価報告を組み合わせるかによって、さまざまな「合同」の程度がある。合同評価は、プログラム及び戦略の有効性、複数のパートナーの支援の補完性、援助調整の質等を査定する際に生じる個々のドナーへの帰属問題を克服するのに役立つ。

効率性

資源及び（又は）インプット（投入）（資金、専門技術（知識）、時間など）がいかに関係的に結果を生み出したかを示す尺度。

参加型評価

援助機関及び（受益者を含む）利害関係者の代表が、共同で評価を計画、実施、解釈するという評価手法。

自己評価

開発インターベンションの計画及び実施に携わるも

with inputs, moving through activities and outputs, and culminating in outcomes, impacts, and feedback. In some agencies, reach is part of the results chain.

Related terms: assumptions, results framework.

Conclusions

Conclusions point out the factors of success and failure of the evaluated intervention, with special attention paid to the intended and unintended results and impacts, and more generally to any other strength or weakness. A conclusion draws on data collection and analyses undertaken, through a transparent chain of arguments.

Effect

Intended or unintended change due directly or indirectly to an intervention.

Related terms: results, outcome.

Joint evaluation

An evaluation to which different donor agencies and/or partners participate.

Note: There are various degrees of “jointness” depending on the extent to which individual partners cooperate in the evaluation process, merge their evaluation resources and combine their evaluation reporting. Joint evaluations can help overcome attribution problems in assessing the effectiveness of programs and strategies, the complementarity of efforts supported by different partners, the quality of aid coordination, etc.

Efficiency

A measure of how economically resources/inputs (funds, expertise, time, etc.) are converted to results.

Participatory evaluation

Evaluation method in which representatives of agencies and stakeholders (including beneficiaries) work together in designing, carrying out and interpreting an evaluation.

Self-evaluation

An evaluation by those who are entrusted

のによる評価。

事後評価

開発インターベンションが終了した後に行われる評価。

注：これは終了直後に行われることもあれば、終了後時間を置いてから行われることもある。意図するところは成功要因と失敗要因を明確にし、結果及びインパクトの自立発展性（持続可能性）を査定し、またその他のインターベンションの参考となるような結論を導き出すことである。

事前評価

開発インターベンションの実施前に行われる評価。

関係用語：審査、開発支援開始時の質

実績（パフォーマンス）

開発インターベンションあるいは開発パートナーが、特定の基準、標準、ガイドラインに従って活動した度合い、または設定された上位目標や計画に従って結果を達成したかという度合い。

実績指標

開発インターベンションの中で生じた変化を立証するため、あるいは当初計画と比較して結果を示すための変数。

関連用語：実績モニタリング、実績測定（パフォーマンス・メジャメント）

実績測定（パフォーマンス・メジャメント）

設定された上位目標に対する開発インターベンションの実績（パフォーマンス）を査定するためのシステム。

関連用語：実績モニタリング、指標

実績モニタリング

プロジェクト、プログラム、政策が期待される結果に対してどの程度実施されているかを比較するために、データを収集、分析する継続的なプロセス。

質の保証

質の保証とは、開発インターベンションの長所、価値あるいは所与の標準の整合性を査定及び改善すること

with the design and delivery of a development intervention.

Ex-post evaluation

Evaluation of a development intervention after it has been completed.

Note: It may be undertaken directly after or long after completion. The intention is to identify the factors of success or failure, to assess the sustainability of results and impacts, and to draw conclusions that may inform other interventions.

Ex-ante evaluation

An evaluation that is performed before implementation of a development intervention.

Related terms: appraisal, quality at entry.

Performance

The degree to which a development intervention or a development partner operates according to specific criteria/standards/guidelines or achieves result in accordance with stated goals or plans.

Performance indicator

A variable that allows the verification of changes in the development intervention or shows results relative to what was planned.

Related terms: performance monitoring, performance measurement.

Performance measurement

A system for assessing performance of development interventions against stated goals.

Related terms: performance monitoring, indicator.

Performance monitoring

A continuous process of collecting and analyzing data to compare how well a project, program, or policy is being implemented against expected results.

Quality Assurance

Quality assurance encompasses any activity that is concerned with assessing and improving

に関わる活動を含むものである。

注：質を保証するための業務には、審査、RBM（結果重視マネジメント）、実施中のレビュー、評価などが含まれる。質の保証は、ポートフォリオの質及びその開発効果について査定することにも関連するものである。

指標

量的又は質的な要素又は変数のことであり、これによってインターベンションの達成度を測定するため、支援によって生じた変化を明示するため、または開発関係者の実績（パフォーマンス）を査定する手助けとなるための簡潔かつ信頼できる手段がもたらされる。

信頼性

データや評価判断の一貫性もしくは確実性のことであり、評価データを収集、解釈するために用いられる手法、手順、分析の質に関連する。

注：同様の条件の下で、同様の手法を用いて繰り返し行った観察によって、同様の結果が得られた場合、その評価情報は信頼できるといえる。

受益者

対象とされている、されていないに拘わらず、開発インターベンションによって直接もしくは間接的に便益を受ける個人、グループ、組織。

関連用語：対象範囲（影響範囲）、ターゲット・グループ

上位目標

開発インターベンションによる貢献が期待されている、より高次の目標。

関連用語：開発目標

自立発展性（持続可能性）

開発インターベンションの終了時における、開発インターベンションによる便益の持続性。

長期的便益が継続する見込み。時間の経過に伴う純益の流出というリスクに対する回復力。

the merit or the worth of a development intervention or its compliance with given standards.

Note: examples of quality assurance activities include appraisal, RBM, reviews during implementation, evaluations, etc. Quality assurance may also refer to the assessment of the quality of a portfolio and its development effectiveness.

Indicator

Quantitative or qualitative factor or variable that provides a simple and reliable means to measure achievement, to reflect the changes connected to an intervention, or to help assess the performance of a development actor.

Reliability

Consistency or dependability of data and evaluation judgements, with reference to the quality of the instruments, procedures and analyses used to collect and interpret evaluation data.

Note: evaluation information is reliable when repeated observations using similar instruments under similar conditions produce similar results.

Beneficiaries

The individuals, groups, or organizations, whether targeted or not, that benefit, directly or indirectly, from the development intervention.

Related terms: reach, target group.

Goal

The higher-order objective to which a development intervention is intended to contribute.

Related term: development objectives.

Sustainability

The continuation of benefits from a development intervention after major development assistance has been completed.

The probability of continued long-term benefits. The resilience to risk of the net benefit flows over time.

審査³

資金拠出を決定する前に、開発インターベンションの妥当性、実施可能性及び潜在的な自立発展性（持続可能性）を全体的に査定すること。

注：開発機関、開発銀行等において、審査の目的は、その活動が組織の資源の適切な使用を意味するかどうかを意思決定者が判断できるようにすることにある。

関連項目：事前評価

正当性

当該データ収集方法及び手法によって、測定予定であったものをどの程度（実際に）測定できるのかという度合い。

セクター・プログラム評価

特定の開発目標の達成に貢献する、一国内もしくは複数の国にまたがる特定のセクターにおける開発インターベンションの集合体を対象とした評価。

注：セクターには、保健、教育、農業、運輸等の公共活動の目的に照らして、同じグループに分類される複数の開発活動が含まれる。

総括評価

インターベンションの終了時（もしくはインターベンションの特定の段階）に、当初見込まれたアウトカム（成果）がどの程度実現されたかを判断するための調査。総括評価はプログラムの価値についての情報を提供することを意図するものである。

関連用語：インパクト評価

組織制度的開発インパクト

インターベンションによってその国又は地域が人的、財政的及び天然資源を効果的で公正かつ持続的に利用する能力を向上あるいは減退させる度合い。例えば、（a）組織制度的仕組みの明確さ、安定性、透明性、実行力及び予測可能性が向上すること、及び（又は）（b）これら組織制度的仕組みに相応する、組織の任務と能力がその権限により一致するようになるなどである。こうしたインパクトには、ある行動による意図された、

Appraisal

An overall assessment of the relevance, feasibility and potential sustainability of a development intervention prior to a decision of funding.

Note: In development agencies, banks, etc., the purpose of appraisal is to enable decision-makers to decide whether the activity represents an appropriate use of corporate resources.

Related term: ex-ante evaluation

Validity

The extent to which the data collection strategies and instruments measure what they purport to measure.

Sector program evaluation

Evaluation of a cluster of development interventions in a sector within one country or across countries, all of which contribute to the achievement of a specific development goal.

Note: a sector includes development activities commonly grouped together for the purpose of public action such as health, education, agriculture, transport etc.

Summative evaluation

A study conducted at the end of an intervention (or a phase of that intervention) to determine the extent to which anticipated outcomes were produced. Summative evaluation is intended to provide information about the worth of the program.

Related term: impact evaluation.

Institutional Development Impact

The extent to which an intervention improves or weakens the ability of a country or region to make more efficient, equitable, and sustainable use of its human, financial, and natural resources, for example through: (a) better definition, stability, transparency, enforceability and predictability of institutional arrangements and/or (b) better alignment of the mission and capacity of an

3 開発援助以外の分野では、「査定」と訳される場合がある。

及び意図されない効果が含まれる。

対象範囲（影響範囲）

開発インターベンションの受益者及びその他の利害関係者。

関連用語：受益者

ターゲット・グループ

特定の個人または組織であり、彼（彼女）らの便益のために開発インターベンションが行われる。

妥当性

開発インターベンションの目標が、受益者の要望、対象国のニーズ、地球規模の優先課題及びパートナーやドナーの政策と合致している程度。

注：過去においては、妥当性の問題は、インターベンションの目標あるいはその計画が、依然として適切なものであるかどうかという点が問題になることが多い。

中間評価

インターベンション実施の中間段階に行われる評価。

関連用語：形成評価

提言

1) 開発インターベンションの有効性、質、効率を高めること、2) 目標を再検討すること、3) 資源の再分配、を目的として行われる提案。提言は結論と関連付けられなければならない。

データ収集ツール

評価作業において、情報源の特定と情報収集を行うために用いられる方法。

注：例として、フォーマル及びインフォーマル・サーベイ、直接及び参加型観察、コミュニティ・インタビュー、フォーカス・グループ（ディスカッション）、有識者の意見、ケース・スタディ、文献資料調査など。

organization with its mandate, which derives from these institutional arrangement. Such impacts can include intended and unintended effects of an action.

Reach

The beneficiaries and other stakeholders of a development intervention.

Related term: beneficiaries.

Target group

The specific individuals or organizations for whose benefit the development intervention is undertaken.

Relevance

The extent to which the objectives of a development intervention are consistent with beneficiaries' requirements, country needs, global priorities and partner's and donors' policies.

Note: Retrospectively, the question of relevance often becomes a question as to whether the objectives of an intervention or its design are still appropriate given changed circumstances.

Mid-term evaluation

Evaluation performed towards the middle of the period of implementation of the intervention.

Related term: formative evaluation.

Recommendations

Proposals aimed at enhancing the effectiveness, quality, or efficiency of a development intervention; at redesigning the objectives; and/or at the reallocation of resources. Recommendations should be linked to conclusions.

Data Collection Tools

Methodologies used to identify information sources and collect information during an evaluation.

Note: Examples are informal and formal surveys, direct and participatory observation, community interviews, focus groups, expert opinion, case studies, literature search.

テーマ別評価

複数の国、地域、分野にまたがる特定の開発重点事項に関わるすべての開発インターベンションを抽出したものに対して行う評価。

Thematic evaluation

Evaluation of a selection of development interventions, all of which address a specific development priority that cuts across countries, regions, and sectors.

独立評価

（評価の対象となる）開発インターベンションの計画及び実施に責任を有する者から統制を受けない組織や個人によって行われる評価。

注：評価の信頼性は、いかに独立して実施されたかという点にある程度かかっている。ここで独立とは、政治的影響や組織の圧力に左右されないことを意味する。独立評価は、情報への完全なアクセスがあること、調査の実施及び評価結果の報告において評価者の完全な自主性が保たれるという特徴をもつ。

Independent evaluation

An evaluation carried out by entities and persons free of the control of those responsible for the design and implementation of the development intervention.

Note: The credibility of an evaluation depends in part on how independently it has been carried out. Independence implies freedom from political influence and organizational pressure. It is characterized by full access to information and by full autonomy in carrying out investigations and reporting findings.

トライアングレーション

ある査定（アセスメント）を立証及び実証するために、3つもしくはそれ以上の理論、出所、情報の種類、分析の方法を用いること。

注：複数のデータ源、手法、分析、理論を組み合わせることによって、評価者が単一の情報提供者、単一の手法、単一の観察者あるいは単一の理論研究による偏りを克服することを目的とする。

Triangulation

The use of three or more theories, sources or types of information, or types of analysis to verify and substantiate an assessment.

Note: by combining multiple data-sources, methods, analyses, or theories, evaluators seek to overcome the bias that comes from single informants, single methods, single observer or single theory studies.

内部評価

ドナー、パートナーあるいは援助実施に関わる組織の経営部門に対する報告を行う部局及び（又は）個人によって行われる開発インターベンションの評価。

関連用語：自己評価

Internal evaluation

Evaluation of a development intervention conducted by a unit and/or individuals reporting to the management of the donor, partner, or implementing organization.

Related term: self-evaluation.

パートナー

相互に合意した目標を達成するために協働する個人及び（又は）組織。

注：パートナーシップの概念は、共通の上位目標、アウトカム（成果）に対する共同責任、明確なアカウンタビリティ（説明責任）及び相互義務を含んでいる。パートナーには、政府、市民社会、非政府組織、大学、専門及び事業団体、国際機関、私企業などが含まれる。

Partners

The individuals and/or organizations that collaborate to achieve mutually agreed upon objectives.

Note: The concept of partnership connotes shared goals, common responsibility for outcomes, distinct accountabilities and reciprocal obligations. Partners may include governments, civil society, non-governmental organizations, universities, professional and business associations, multi-lateral organizations, private companies, etc.

反事実的状況

開発インターベンションが行われなかったとしたら、当該個人、組織、グループが置かれたであろうと想定される状況あるいは状態。

評価

現在実施中、あるいは既に終了したプロジェクト、プログラム、政策及びその計画、実施、結果についての体系的かつ客観的な査定。目標の妥当性及び達成度、開発の効率性、有効性、インパクト、自立発展性（持続可能性）の判断を目的とする。評価は、得られる教訓が被援助国側、ドナー側双方の意思決定プロセスに活用されるような信頼性及び有用性の高い情報を提供するものでなければならない。

評価はまた、活動、政策、プログラムの価値や意義を決定するプロセスであり、計画中、実施中または既に終了した開発インターベンションについて、可能な限り体系的かつ客観的な査定である。

注：評価は、標準を定義づけること、標準に照らした実績（パフォーマンス）を検証すること、実際の結果、予測される結果及び関連する教訓を見いだすことを見極めることである。

関連用語：レビュー

評価可能性

活動やプログラムがどれほど信用、信頼に値する形で評価されうるかという度合い。

注：評価可能性の査定には、活動の目標が適切に限定されているか、その結果が実証可能かどうかを確認するために、評価対象の活動を早期に見直すことが必要である。

評価結果

評価結果は、ひとつまたは複数の評価から得られる証拠を用いるものである。

フィードバック

評価プロセスを通じて得られた評価結果を関係者に伝達することは、学習を促進する観点から有益である。またフィードバックには、経験から導き出された評価結果、結論、提言、教訓の収集及び普及が含まれることもある。

Counterfactual

The situation or condition which hypothetically may prevail for individuals, organizations, or groups were there no development intervention.

Evaluation

The systematic and objective assessment of an on-going or completed project, programme or policy, its design, implementation and results. The aim is to determine the relevance and fulfillment of objectives, development efficiency, effectiveness, impact and sustainability. An evaluation should provide information that is credible and useful, enabling the incorporation of lessons learned into the decision-making process of both recipients and donors.

Evaluation also refers to the process of determining the worth or significance of an activity, policy or program. An assessment, as systematic and objective as possible, of a planned, on-going, or completed development intervention.

Note: Evaluation in some instances involves the definition of appropriate standards, the examination of performance against those standards, an assessment of actual and expected results and the identification of relevant lessons.

Related term: review.

Evaluability

Extent to which an activity or a program can be evaluated in a reliable and credible fashion.

Note: Evaluability assessment calls for the early review of a proposed activity in order to ascertain whether its objectives are adequately defined and its results verifiable.

Finding

A finding uses evidence from one or more evaluations to allow for a factual statement.

Feedback

The transmission of findings generated through the evaluation process to parties for whom it is relevant and useful so as to facilitate learning. This may involve the collection and dissemination of findings, conclusions, recommendations and lessons from experience.

プログラム評価⁴

地球規模、地域別、国別、分野別等の開発目標を達成するために整理された一連のインターベンションの評価。

注：開発プログラムとは、分野、課題、及び（又は）地域を超えて実施されることのある、複数の活動を含む限定された期間内のインターベンションのことである。

関連用語：国別プログラム／戦略評価

プロジェクト評価⁵

個々の開発インターベンションを対象とする評価であり、この開発インターベンションとは、特定の資源と実施期間内で、また、往々にして、より広範に及ぶプログラムの枠組み内において、特定の目標を達成するために計画されたものをいう。

注：測定可能な便益をもつプロジェクトの場合、費用便益分析は、プロジェクト評価の主要な手法である。便益が数量化できない場合は、費用対効果がよりふさわしいアプローチとなる。

プロジェクトあるいはプログラム目標

意図された物的、財政的、組織制度的、社会的、環境的、あるいはその他の開発支援結果であり、これらの実現に向け、プロジェクトもしくはプログラムが貢献することが期待されているものである。

プロセス評価

実施を担当する組織内部の力学、政策手段、サービス提供のメカニズム、運営実施、またこれらの連携状況の評価。

関連用語：形成評価

分析ツール

評価に際し、情報を処理、解釈するために使われる手法。

ベースライン調査

開発インターベンションに先だって行われる現状分析のことであり、この分析に基づいて、進捗状況の査

Program evaluation

Evaluation of a set of interventions, marshaled to attain specific global, regional, country, or sector development objectives.

Note: a development program is a time bound intervention involving multiple activities that may cut across sectors, themes and/or geographic areas.

Related term: Country program/strategy evaluation.

Project evaluation

Evaluation of an individual development intervention designed to achieve specific objectives within specified resources and implementation schedules, often within the framework of a broader program.

Note: Cost benefit analysis is a major instrument of project evaluation for projects with measurable benefits. When benefits cannot be quantified, cost effectiveness is a suitable approach.

Project or program objective

The intended physical, financial, institutional, social, environmental, or other development results to which a project or program is expected to contribute.

Process evaluation

An evaluation of the internal dynamics of implementing organizations, their policy instruments, their service delivery mechanisms, their management practices, and the linkages among these.

Related term: formative evaluation.

Analytical tools

Methods used to process and interpret information during an evaluation.

Base-line study

An analysis describing the situation prior to a development intervention, against which progress

⁴ 外務省では「プログラムレベル評価」と呼称している。

⁵ 外務省では「プロジェクトレベル評価」と呼称している。

定や比較が行われる。

ベンチマーク

参考となる点または標準のことであり、これに基づいて、実績（パフォーマンス）や達成度が査定される。
注：ベンチマークは、類似の他の組織がごく最近達成した実績（パフォーマンス）またはその状況の中で達成されるべきであると推測される事柄をも意味する。

メタ評価

この用語は、一連の評価から評価結果を集計することを意図した評価に対して使われる。また、評価の質の判断及び（又は）評価実施者の実績（パフォーマンス）を査定するための、評価の評価という意味で使われる。

目的

公に示された開発支援プログラムあるいはプロジェクトの目標

モニタリング

実施中の開発インターベンションの管理部門や主要な利害関係者に対して、目標の達成度及び進捗の度合い、配分された資金の活用状況に関する情報を提供するために、特定の指標に関するデータを体系的に集積したものを用いて行う継続的な機能。

関連用語：実績モニタリング、指標

有効性

開発インターベンションの目標が実際に達成された、あるいはこれから達成されると見込まれる度合いのことであり、目標の相対的な重要度も勘案しながら判断する。

注：「有効性」とは、活動の長所または価値を総合的に測る尺度（もしくは判断）としても用いられる。すなわち、当該インターベンションが、持続的な方法で、また、組織制度開発上の発展にプラスのインパクトをもたらしながら、その主要な目標を効率的に達成したかもしくは達成すると見込まれる度合いのことである。

関連語：効能

can be assessed or comparisons made.

Benchmark

Reference point or standard against which performance or achievements can be assessed.

Note: A benchmark refers to the performance that has been achieved in the recent past by other comparable organizations, or what can be reasonably inferred to have been achieved in the circumstances.

Meta-evaluation

The term is used for evaluations designed to aggregate findings from series of evaluations. It can also be used to denote the evaluation of an evaluation to judge its quality and/or assess the performance of the evaluators.

Purpose

The publicly stated objectives of the development program or project.

Monitoring

A continuing function that uses systematic collection of data on specified indicators to provide management and the main stakeholders of an ongoing development intervention with indications of the extent of progress and achievement of objectives and progress in the use of allocated funds.

Related term: performance monitoring, indicator.

Effectiveness

The extent to which the development intervention's objectives were achieved, or are expected to be achieved, taking into account their relative importance.

Note: Also used as an aggregate measure of (or judgment about) the merit or worth of an activity, i.e., the extent to which an intervention has attained, or is expected to attain, its major relevant objectives efficiently in a sustainable fashion and with a positive institutional development impact.

Related term: efficacy.

利害関係者

開発インターベンションあるいはその評価に、直接または間接的に利害を有する機関、組織、グループ、個人。

リスク分析

インターベンション目標の達成に影響する、もしくは影響することが見込まれる要素（ログフレームでは仮定と呼ばれる）を分析もしくは査定すること。開発インターベンションによって引き起こされる、人々の生命、健康、財産もしくは環境への望まれない負の結果が生じる可能性についての詳細検査、及びこうした望ましくない結果に関する情報を提供するための体系的プロセス、並びに明確になったリスクに関し、それが生じる確率及び予想されるインパクトを定量化するプロセスのことである。

レビュー

定期的あるいは任意に行われる、インターベンションの実績（パフォーマンス）を査定すること。

注：「評価」という語はしばしば「レビュー」よりも総合的及び（又は）より詳細な査定を意味するものとして使われる。レビューは実施面に重点を置く傾向がある。時折「レビュー」と「評価」が同義語として使われることがある。

関連用語：評価

ロジカル・フレームワーク（ログフレーム）

インターベンションの計画を改善させるために用いられるマネジメント・ツールであり、多くの場合プロジェクト・レベルにおいて使われる。これには成功又は失敗に影響する戦略的要素（インプット（投入）、アウトプット（産出物）、アウトカム（成果）、インパクト）やこれらの因果関係、指標及び仮定あるいはリスクを特定する作業が含まれる。ロジカル・フレームワークは、このように開発インターベンションの計画、実施及び評価を促進するものである。

関連用語：結果重視マネジメント

Stakeholders

Agencies, organisations, groups or individuals who have a direct or indirect interest in the development intervention or its evaluation.

Risk analysis

An analysis or an assessment of factors (called assumptions in the logframe) affect or are likely to affect the successful achievement of an intervention's objectives. A detailed examination of the potential unwanted and negative consequences to human life, health, property, or the environment posed by development interventions; a systematic process to provide information regarding such undesirable consequences; the process of quantification of the probabilities and expected impacts for identified risks.

Review

An assessment of the performance of an intervention, periodically or on an ad hoc basis.

Note: Frequently “evaluation” is used for a more comprehensive and/or more indepth assessment than “review”. Reviews tend to emphasize operational aspects. Sometimes the terms “review” and “evaluation” are used as synonyms.

Related term: evaluation.

Logical framework (Logframe)

Management tool used to improve the design of interventions, most often at the project level. It involves identifying strategic elements (inputs, outputs, outcomes, impact) and their causal relationships, indicators, and the assumptions or risks that may influence success and failure. It thus facilitates planning, execution and evaluation of a development intervention.

Related term: results based management